

水土里レポート

投稿月日	
タイトル	「田んぼの学校」～水土里ネット那須野ヶ原～ 生き物調査
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 参事 星野 恵美子

平成29年7月16日 栃木県那須塩原市二区町において「ほたるの里百間の会」による「田んぼの学校」が開催されました。この「田んぼの学校」は、一年を通じ、農業や自然について子供達が学べる場を提供し地域の方々に農村環境の役割や食の大切さを理解していただくための活動です。この地域は、平成19年度から農地・水・環境保全向上活動とリンクし地域ぐるみの活動となりました。

この日は「生き物調査」を小学生中心の子供達と大人、約30人で行いました。この「生きもの調査」は、地域の生物多様性の現状を自分たちの手で把握するために行う調査です。

前日の夕方に「田んぼの学校」の圃場へ仕掛けておいたドジョウ調査用のウケを引き上げ、田んぼの土の採土を行いました。ウケには、約10cmの大きなドジョウが数十匹入っており、活発に動くドジョウを見た子供たちは大騒ぎしていました。ウケの中にはオタマジャクシやタガメなども入っていました。採土した土は、水できれいに洗い流し、田んぼに生息する生き物を数えるため、ひとつまみ程度の土をバットに分け入れて生き物を探しました。子どもたちは、真剣な顔で、ミリ単位の小さな生き物を懸命に探していました。イトミミズやユスリカを見つけると子どもたちの表情はとても嬉しそうでした。

外で遊ぶことが少ない子供達にとって、このような自然体験学習は大人になってからも貴重な体験であり忘れられない思い出になると思います。

作業後は、お楽しみの『こじはん』の時間です。公民館前の日陰にテーブルと椅子を並べ野外での『こじはん』。この日は、地域のお母さん達が作ったカレーライスと地元で採れた野菜のお漬け物が振舞われました。お腹が空いていたのか、子供たちはたくさんおかわりをして食べていました。

水土里ネット那須野ヶ原では、今後も田んぼの学校の活動を通して農業の大切さや自然の大切さ、生き物の命の大切さなどを子供たちや地域の方々と共に伝え支援していきたいと思います。



生き物を探す真剣な表情！



みんなのお楽しみ「こじはん」